

すえのはら 地域会議 だより



オリジナルキャラクター
かけりん

No42
2023.5.10

令和5年度の地域会議委員を紹介します



上段左から 深津三洋（幸町）、安齋久美（永覚新町）、五十嵐久美（御幸本町）、深津貴彦（渡刈町）、清水隆幸（鴛鴨）、板倉孝延（御幸本町）、鶴田千江子（永覚）、瀨瀬明美（大林町）
下段左から 清水浩之（隣松寺）、下川大輔（鴛鴨）、神谷幹樹（渡刈町）、会長：清水邦雄（豊栄二区）、副会長：伊藤俊満（大林町）、板倉一雄（永覚新町）、鈴木隆一（豊栄町一区）、清水昇（隣松寺）
※鶴田千江子委員は令和4年度末で退任いたしました。1年間ありがとうございました。

末野原地域会議は、「わくわくする世界一楽しいふるさと末野原」を目指して、次の事項に取り組んでいます。

- ・中長期的な地域の課題を抽出し、課題に対して対応策・解決策を検討し市へ提言を行う
- ・市長からの質問（諮問）に対して審議し、答申する

地域の皆さんが感じている地域の課題などがありましたら、ぜひご意見をお聞かせください。



私たちが事務局です

現在は、市への提言に向けて4つのテーマ
（交通安全・ごみ・高齢化・末野原の魅力再発見）
について協議しています。



山村条例に関する諮問※に対して答申しました

※市からの質問

第9回末野原地域会議（令和4年12月21日開催）にて、「都市と山村地域の交流や連携を深める機会を増やすために、地区住民や地域で実践可能な取組や、そのために必要な方策等」の諮問に対する答申を副市長に渡し、その後意見交換会を行いました。

答申では、市に対して、「山村条例及び山村地域に対する市民の理解促進」、「山村の価値及び山村地域を盛り上げる活動の情報発信」、「青少年に対する学びの機会の創出」を求めると共に、私たちができる都市と山村地域との交流のアイデアについて意見を伝えました。

副市長との意見交換会では、山村地域の暮らしや山村条例について積極的に意見や質問が出され、市の施策について理解を深めることができました。



会長から副市長へ
答申書を渡しました



～上郷支所からのお知らせ～

令和5年度わくわく事業助成 8団体決定

「わくわく事業」とは、地域の団体や市民活動団体などが実施する、住みやすい地域づくりのために取り組む事業に対し、補助金を交付する仕組みです。

団体名	事業概要	補助額（円）
元気の出る森づくりの会	鶯鴨町高根地区「元気の出る森」の花壇や散策路を整備し、地域の人が集える場所の維持管理を行います。	242,000
渡刈町サポート会	登下校の見守りや清掃活動、鳥狩塚の整備等、魅力ある地域を目指して幅広く活動しています。	458,000
豊栄町一区自治区 区誌編纂委員会	自治区の歴史・文化等をまとめた区誌を作成し、区誌を活用した地域交流を通じて、地域への愛着を高めます。	1,000,000
おしかも ほたるの会	地域に豊かな自然を残すため蛍が生息できる環境の整備と蛍の養殖を行い、自然発生を目指します。	177,000
竹の会	竹林を整備し、子どもから高齢者まで地域交流の場を作ります。また、景観を維持し不法投棄を抑制します。	150,000
NEW ふるさと訪問末野原の会	末野原の史跡・名勝地を題材にした双六を作製し、楽しみながら地域の歴史を学べる機会を創出します。	77,000
NEW 豊栄町一区まちづくりの会	グランドゴルフを通じて住民同士の交流を図ります。また、健康寿命の向上や地域の活性化を目指します。	124,000
永覚新町お助け隊	地域の高齢者世帯の困りごとを助け、元気で安心して暮らせるよう支援します。	176,000
	合計	2,404,000